

メルカゾール錠 2.5mg

メルカゾール錠 5mg

【この薬は？】

販売名	メルカゾール錠 2.5mg MERCAZOLE TABLETS	メルカゾール錠 5mg MERCAZOLE TABLETS
一般名	チアマゾール Thiamazole	
含有量 (1錠中)	チアマゾール 2.5mg	チアマゾール 5mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗甲状腺剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、甲状腺に作用し、甲状腺ホルモンの合成に必要な酵素の働きを阻害し、甲状腺ホルモンの過剰分泌をおさえます。
- ・次の病気の人に処方されます。

甲状腺機能亢進症

- ・この薬は、効果があらわれるのに時間がかかります。
- ・体調が良くなったと自己判断して使用をやめたり、効かないからといって量を増やしたりせず、指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○この薬を飲み始めてから、主に2ヵ月以内に重篤な無顆粒球症が起り、死亡に至った例も報告されています。

この薬を飲み始めてから2ヵ月間は、原則として2週ごとに血液検査が行われます。

その後も定期的に血液検査が行われます。必ず受診日を守ってください。一度使用を中止して、再開する場合にも同様の血液検査が行われます。

無顆粒球症が起こると感染しやすくなり、かぜや扁桃腺炎の時と同様な「発熱」、「のどの痛み」、「全身のけん怠感（だるさ）」などがあらわれることがあります。このような症状に気づいたら、かぜと思ってそのままにせずに、ただちに受診してください。

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にメルカゾール錠に含まれる成分で過敏症のあった人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・白血球減少や他の血液障害のある人
- ・肝臓に障害のある人
- ・妊婦又は妊娠している可能性のある人。
- ・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、飲む量および回数は、次のとおりです。

		初期量		維持量	
		飲む量	飲む回数	飲む量	飲む回数
成人	通常	1日 30mg	1日分を 3～4回に分ける。	1日 5～10mg	1日分を1～2 回に分ける。
	重症の場合	1日 40～60mg			
小児	5歳以上～ 10歳未満	1日 10～20mg	1日分を 2～4回に分ける。		
	10歳以上～ 15歳未満	1日 20～30mg			
妊婦		1日 15～30mg	1日分を 3～4回に分ける。		

初期量で症状がほぼ消失したら、薬の量を1～4週間ごとに徐々に減らして、維持量とします。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とぼして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

甲状腺腫（首のはれ）や甲状腺機能低下（疲れやすい、まぶたが腫れぼったい、寒がり、体重増加、いつも眠たい、便秘、かすれ声、脱毛）があらわれる可能性があります。

す。いくつかの症状が同じような時期にあらわれたら、すぐに医師または薬剤師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を飲み始めてから2ヵ月間は、原則として2週ごとに血液検査が行われます。その後も定期的に血液検査が行われます。必ず受診日を守ってください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。・妊娠中は2週間ごとに甲状腺機能の検査が行われます。
- ・授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
汎血球減少 はんけつきゅうげんしょう	めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきの出血、息切れ、動悸（どうき）、あおあざができる、出血しやすい、発熱、寒気、喉の痛み
再生不良性貧血 さいせいふりょうせいひんけつ	めまい、体がだるい、息切れ、動悸（どうき）、あおあざができる、出血が止まりにくい、発熱、寒気、喉の痛み
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
白血球減少 はっけつきゅうげんしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
低プロトロンビン血症 ていプロトロンビンけっしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、軽い打撲による出血性のこぶ、便が黒くなる
第Ⅶ因子欠乏症 だいなないんしけつぼうしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、軽い打撲による出血性のこぶ、便が黒くなる
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
血小板減少性紫斑病 けっしょうばんげんしょうせいしはんびょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
多発性関節炎 たはつせいかんせつえん	関節のはれ、関節の痛み

重大な副作用	主な自覚症状
SLE 様症状 エスエルイーようしょうじょう	体がだるい、関節の痛み、発熱、顔の赤い発疹、体重減少
インスリン自己免疫症候群 インスリンじこめんえきしょうこうぐん	冷や汗、空腹感、動悸（どうき）、頭痛、手足のふるえ、ふらつき、めまい、脱力感
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息切れ、息苦しい、発熱
抗好中球細胞質抗体 (ANCA) 関連血管炎症候群 こうこうちゅうきゅうさいぼうしつこうたい (エイエヌシーエイ)かんれんけつかんえん しょうこうぐん	血尿、鼻水、鼻づまり、咳、喉の痛み、発熱、皮下出血によるあざ、皮膚の潰瘍
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	出血しやすい、発熱、寒気、体がだるい、出血が止まりにくい、突然の高熱、疲れやすい、力が入らない、体がかゆくなる、体重減少、冷や汗、ふらつき、脱力感
頭部	めまい、頭痛
顔面	鼻血、顔の赤い発疹、鼻水、鼻づまり
眼	白目が黄色くなる
耳	耳鳴り
口や喉	歯ぐきの出血、喉の痛み、吐き気、咳
胸部	息切れ、動悸（どうき）、息苦しい
腹部	食欲不振、空腹感
手・足	関節のはれ、関節の痛み、手足のふるえ、手足のこわばり、手足のしびれ
皮膚	あおあざができる、軽い打撲による出血性のこぶ、皮膚が黄色くなる、皮下出血によるあざ、皮膚の潰瘍
筋肉	筋肉の痛み
便	便が黒くなる
尿	尿の色が濃くなる、血尿、尿が赤褐色になる

【この薬の形は？】

販売名	メルカゾール錠 2.5mg	メルカゾール錠 5mg
PTP シート	 <p>表面</p>	 <p>表面</p>
	 <p>裏面</p>	 <p>裏面</p>
形状		
直径	7.2mm	
厚さ	3.2mm	
重さ	132mg	
色	淡赤色	淡黄色
製剤表示	メルカゾール 2.5	メルカゾール 5

【この薬に含まれているのは？】

販売名	メルカゾール錠 2.5mg	メルカゾール錠 5mg
有効成分	日局チアマゾール	
添加剤	乳糖水和物、トウモロコシデンプン、部分アルファー化デンプン、タルク、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、酸化チタン、マクロゴール6000、カルナウバロウ	
	三二酸化鉄	黄色三二酸化鉄

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避け、ふたのついた容器などに入れて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：あすか製薬株式会社 (<https://www.aska-pharma.co.jp/>)

くすり相談室

電話：0120-848-339

受付時間：9：00～17：30

(土・日・祝日及び当社休日を除く)